

なごやかたゆうぜん
名古屋型友禅

名古屋独自の色彩美を守る



あかつか じゅんいち
赤塚 順一

明治期より北区に根を下ろし、名古屋独自の色彩美を守り続けてきた「名古屋型友禅」の伝統工芸士。その高い技術は名古屋を代表し、姉妹都市イタリア・トリノ市へ贈る親善の証としても選ばれました。



名古屋友禅とは

友禅染めは着物などを染める技法のひとつです。名古屋友禅は京や加賀の友禅と比べて色数を抑えており、全体的に渋めの落ち着いた色合いが特色で、「手描友禅」と「型友禅」に大別されます。京友禅、東京手描友禅と並び、国から伝統的工艺品に指定されています。型友禅の技術は、化学染料を混ぜた色糊と型紙を用いた染野の技法として明治時代に確立されたといわれています。

職人さんのコメント

着物としてだけでなく、テキスタイルとしてさまざまな可能性を広げ、名古屋型友禅の魅力を発信していきたい。



(写真提供：赤塚染工場)